

国際部会

外国人のための日本料理教室を開催

国6-国 黒田 宏

場 所：クリスタルタワー 4階 料理教室



長寿社会開発センターからの助成金による日本文化の伝承事業として日本の伝統家庭料理を紹介・試食する料理教室を神戸市内の外国人を対象に開くことにし、昨年11月に計画していたが、応募者が3名と言うことから延期せざるを得なかった。場所を交通の便の良いクリスタルタワーに変えて再度呼びかけたところ今年のことが嘘のような盛会となった。

インドから3名(1名欠席)韓国3名、米国5名(1名欠席)カナダ4名(1名欠席)スペイン1名、英国1名、ウクライナ1名、ミャンマー1名、フィリピン1名、台湾1名と合計21名(女性15名、男性6名)の参加があり、正に日本料理(チラシすし、茶碗蒸し、白玉団子)を通して国際交流ができた。

最初、参加者はもちろん、講師役側も緊張していたが、料理が進むにつれお互いになれ慣れ、会話も弾むようになった。多くの外国人は多少日本語を解しているようであったが、主要言語はやはり英語で通訳も英



語、韓国語、スペイン語で対応した。

当初、外国人の応募が実際どのくらいあるのか、またどのように募るのか検討がつかず戸惑いもあったが、神戸市との関係機関、例えば国際協力・交流センター、総合教育センター、YMCA等をお願いした結果、9ヶ国からの留学生や交換教師らの応募があった。

自分達で作ったチラシ寿司、茶碗蒸し、白玉団子を残すことなく食べながら、他国の人々と交流できたことは素晴らしい体験であった。



神戸国際交流フェア 2005年に参加して

国7-国 鐘築 重治

神戸国際交流フェアは平成9年1月に「がんばれ! こうべっこ国際交流フェア ~ GO KOBE! 震災復興2周年」として開催されてから、今回で9回目を迎える。

特にことしは阪神・淡路大震災10周年の節目の年に当り、震災復興をアピールするために開かれた。

2005年2月5日(土) 10:00~17:00、神戸市および近隣の国際交流・協力団体が“きて、みて、たべて、未来の神戸を見つめよう!”をテーマに2会場に部門別に分かれて次のような多彩な催しが行われた。

*団体紹介ブース 各国料理・飲料の試食や販売を通じて団体活動を紹介。

*物品販売ブース 団体活動に関連する各国民芸品の販売を通じて団体の活動を紹介。

*パネル展示 国際交流・協力団体の活動を写真・ポスター・資料等で展示紹介。

*ステージ 各国国際交流・協力団体による歌・演奏・民族舞踊等のパフォーマンス

当日は、わ国際部会活動

紹介展示ポスターを掲示し、配布資料として、NPO(法)社会還元センターグループわ 活動紹介冊子と、シルバーカレッジの紹介パンフレットをセットにして、訪れる人々に説明のうえ手渡した。

好天に恵まれた日曜日でもあり、地元ハーバーランド会協賛の賞品、神戸市諸施設の入場券が総数で568本当たるスタンプラリーによる抽選もあり、朝早くから親子づれの来場者で賑わいを見せ、終日にわたり大盛況を極めた。

スペースシアター会場では、各国民族舞踊、演奏、合唱、日本伝統芸能の紹介など国際色豊かなステージパフォーマンスが繰り広げられ、出演者に惜しみない拍手が送られるとともに、各国料理・飲食品の販売とあいまって多数の人々でごった返していた。

デュオドーム会場では、団体活動紹介のパネル展示を主として、一部物品販売ブースと食品販売ブース、ならびに「震災10年神戸からの発信」の上映が行われた。

スペースシアター会場に比べれば、展示主体で派手さはなく素通りする人が目立った。(次ページに続く)